

第53回JAIPAの集いin松山

IGFの概要

2022年4月22日

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA
）

IGFとは

- インターネット・ガバナンス・フォーラム（Internet Governance Forum: IGF）とは、インターネットガバナンスの問題に関し、マルチステークホルダー（市民社会、民間、政府、技術コミュニティ、NGO 等各界関係者）間で政策対話を行う、国際連合（以下、国連）管轄下に設置されているフォーラムです。
- IGFは2005年11月にチュニジア・チュニスで開催された世界情報社会サミット (World Summit on the Information Society, WSIS)チュニス会合をきっかけとして始まり、世界会合と地域や国単位の会合が2006年以降毎年開催されています。
- 日本では JAIPAが2010年の準備会合を経て 2011 年にIGF Japan を立ち上げ、その後 2012 年に APriGF（アジア太平洋地域の IGF）を日本で開催しました。その後も、国内で会合を開催し、世界のIGF 年次会合に代表を派遣し、報告会を開催してきました。
- 一方、2014 年にJPNICが「日本インターネットガバナンス会議(IGCJ)を発足し、両者の上位組織として 2016 年に日本を代表する IGF である Japan IGF が設立されました。

インターネットガバナンスとは

- インターネットを安定して運営する上で必要なルール作りや仕組み、それらを検討して実施する体制などを表す言葉です。
- 以前はインターネットを運営するための基盤（ドメイン名、IPアドレスなどの識別子）(of the Internet)の管理を主に対象としていました。
- 近年はインターネット上のコンテンツ(on the Internet)のガバナンスについても議論されるようになりました（フェイクニュース、違法有害情報等）。

IGFで議論されてきたもの

- IGFでは、様々なインターネット上の諸問題について議論されてきました。
 - IPアドレスやドメイン名
 - 表現の自由
 - 違法情報対応
 - セキュリティ
 - クラウド
 - 各国の法制度
 - 仮想通貨
 - サイバー規範
- IGFでは結論は出さないのでありますが世界的な議論を通じ、今後世界におけるインターネットのルール化において重要な役割を果たすものと考えられています。
- そのため、日本からもこのような問題に関心の高い団体や企業、官庁から代表が参加して各国代表と議論を交わしています。

最近のIGFのテーマ

- IGF2020では「データ」「環境」「包摂」「信頼」を重点テーマ、デジタル協力を特別テーマとしてメインセッション、ワークショップ、ベストプラクティスフォーラム、オープンフォーラム、動的連携、NRI共働セッションなどが開催されました。
- ワークショップの内容
 - データ：DoH、AI、プライバシー、データ保護、データ流通など
 - 環境：環境持続性、気候変動に関する偽情報、持続可能性、循環経済など
 - 包摂：言語、女性、農村地域、差別、能力開発、人身売買、Universal Acceptance など
 - 信頼：選挙における偽情報、ヘイトスピーチ、オンラインゲームと子どもの権利、デジタル冷戦、医薬品へのアクセス、国連サイバー対話、人権など
- NRI (National Regional IGF)セッション
 - 緊急時におけるインターネットの役割など

IGF世界会合の概要

- 毎年1回各国で行っている国連主催世界（グローバル）会合
- 2019年はベルリン 2020はオンライン 2021年はポーランド 2022年はエチオピア
- 2021年は12月6日から10日まで5日間開催 300以上のセッション 1000人以上の登壇者 参
- 参加国は175か国 参加者数6,136名（2020）
- ワークショップ、プレイベント、
- ネットワーキングセッション、
- オープンフォーラム、ハイレベル、
- ユースサミット、国別地域別等のセッション
- 2020年は国連事務総長による基調講演。
- ドイツ首相、フランス大統領も参加、
- 各国から大臣級が参加



IGF世界会合2023を日本で開催

- 時期は 2023 年 11 月末か 12 月初め頃
- 場所は未定 主催は国連 ホストは日本政府
- JAIPAなど民間には会合の活性化などプロモーションやセッションのテーマだしが求められています。
- JAIPA と JPNIC で構成する Japan IGF で昨年より IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム会合を 16 回開催 2 月 3 日には IGF2021報告会 が開催されました。
- IGFのプログラムはMAG（マルチステークホルダー諮問グループ）で決まりますが、JAIPAでは2023年本会合までに、APrIGF2022,2023やIGF2022でセッションの提案をしようと考えています。
- 2022年秋にもIGF関連イベントが国内で開催される予定です。